

3月のおもな行事予定

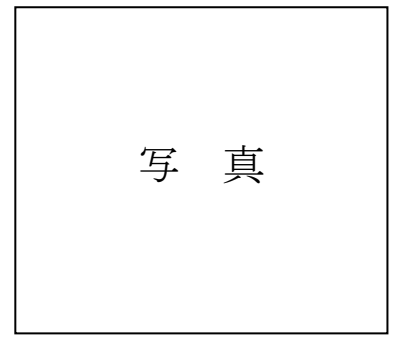
日	曜日	行事
1	火	代表委員会
2	水	お別れワクワクタイム (昼休み)
3	木	6年生を送る会前日準備 (5年 5,6校時)
4	金	6年生を送る会 (2, 3校時)
5	土	
6	日	
7	月	委員会活動 校内人権デー 6年生卒業式練習開始
8	火	
9	水	地区児童会 (5校時)
10	木	食育・ベルマークの日 読み聞かせ1, 2, 4年, 5-2, 6-2, 4くみ
11	金	マツゾウくん来校
12	土	
13	日	
14	月	創立記念日に関わる集会 (放送)
15	火	
16	水	卒業式練習 (5, 6年 1,2校時)
17	木	読み聞かせ3, 5-1, 6-1, 1, 2, 3くみ 卒業式前日準備 (5年 5,6校時) (1~4年, 6年は13:20下校) ※1~4年生は6年生を見送ります。
18	金	第4回卒業式 (1~4年生は自宅学習)
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	
23	水	給食終了
24	木	修了式
25	金	春休みに入る (4月7日まで)

・離任式は2年前から実施していません。
・教職員の異動はメール配信サービスでお伝えします。

こちらも「いのちの学習」

6年生が滋賀県立平和祈念館を訪れ、平和学習を行いました。展示の見学では、それぞれにテーマをもって資料を見て回りました。当時の人々の思いや願いのこもった資料を通して、平和について深く考えた子どもたちでした。また、平和祈念館の方からは、具体的な事例をもとに当時の様子をお話いただき、戦争の悲惨さや平和の尊さとともに、戦時下でも支え合いたくましく生き抜いた人々の「本当の優しさや力強さ」を学び、「生きること」について考えました。

昨年までは、出前授業という形で学習していましたが、現地を訪れての学習は、子どもたちの心に深く浸透するものとなりました。



写真

欠席・遅刻・早退などの連絡は

早く、確実にお願いします

冬季に入り、風邪症状での欠席が増え、本校でも3学級で学級閉鎖の措置をとりました。学級閉鎖についての決定は、児童の出欠や健康状態を確認しながら、市・教育委員会と協議の上、決定しています。

その際、保護者の皆さまからの児童の欠席理由や健康状態についての情報がないと、判断が遅れることがあります。判断の遅れは、多くの児童や保護者の皆さまの健康にも影響しますので、必ず連絡してください。

- ①欠席の場合は、7:30~8:30に必ず連絡してください。
- ②医療受診された場合は、医療機関からの指示や診断を速やかに連絡してください。
- ③緊急に連絡をとらせていただくこともありますので、連絡を受けていただけるご準備をお願いします。



ふるさと 水戸2月

「あい」のある学校・地域 つながれ水戸っ子

あと1か月 確かな足跡を残そう

校長 中尾 功

今年も助産師の吉村真弓先生をゲストティーチャーにお招きし、「いのちの学習」を行っています。今年は、昨年度までの3年生に加え、5年生に「二次性徴」に関わるお話をしていただきます。毎年のことですが、いのちに関わる学習には感動があります。今年も子どもたちは心に温かいものを感じるのではないかと思います。



(3-2, 5-2は17日に実施します)

今回の学習は「いのちの始まり」「変化」についてのものですが、学級担任をしていたころ、「いのちの終わり」についての学習を6年生でしていました。教材は「葉っぱのフレディ」という絵本です。絵本をアニメ化したVTRを観たり、絵本を読み返したりしながら、学習をすすめました。

お話をなかでダニエルという葉っぱがこんなことを言います。
「まだ経験したことがないことは、こわいと思うものだ。でも考えてごらん。世界は変化し続けているんだ。変化しないものは一つもないんだよ。変化するって自然なことなんだ。」
「この木もいつかは死ぬさ。でも、「いのち」は永遠に生きているんだよ。」
 学習後、中学校生活への不安を抱えていた子が前を向きます。ある子は自分たちの小学校生活を振り返り、ある子は学校(1~5年生)に何を残すことができるのかを考えます。以下は当時の子どもたちの作文です。

- ・フレディのように人のためになる仕事がしたいと思いました。その前に小学校に何かを残して卒業したいです。私もフレディのようにいいことをたくさんして、みんなを喜ばせたいです。ダニエルが「まだ経験したことがないことは怖いと思うものだ。」と言いましたが、先生が「胸を張って中学校に行つてね。」と言ってくれたので、少し自信ができました。
- ・この学習で、「中学校へ行くことは怖い」と思いました。それは、ダニエルが「変化しないものは一つもないんだよ」と言っていたからです。だから、中学校へ胸を張って行きたいと思います。そして、小学校に何かを残していきたいと思っています。
- ・この学習で考えたのは、自分たちが何かを残していくために生きているということです。今まで何を残してきたかということ、何のために生きてきたのだろうか。ということ、将来何を残していくのかということ、何のために生きていくのか。ということになると思います。「何のために生きてきたか」を見つめなおし、「何のために生きるのか」を考え、何かを残していけるような人になりたいと思いました。「いのちというのは永遠に生きているのだ。」というのは、何かを残したときの思いを受け継いでいくということなのだろうと思いました。
- ・ぼくは、もう少しでこの学校を卒業するけど、この学校に、物じゃなくてもいいから、何かを残していきたいなあと思いました。今、ぼくたちは、それをやりかけています。もう少しでそれが達成できます。そして、次の6年生も、その次の6年生も、ずっと何かを残していつか後継者がいるといいなあと思いました。

いよいよ残り1か月となった今年度。6年生にとっては小学校生活の最後の1か月、1~5年生にとってもそれぞれの学年の最後の1か月です。自分たちが、水戸っ子としてトライした1年間の足跡をしっかりと残り、次の学年に受け継いでいきたいものです。その繰り返しが、水戸小学校の伝統となっていくのだと思います。「葉っぱのフレディ」のダニエルの言葉を借りるなら、「今の学年は、3月で終わる。でも、みんなが、ある一人ひとりが取り組んだ「記録」「記憶」「思い」は、この水戸小学校で永遠に生き続けるんだよ。」そんな思いを共有して最後までトライしたいです。

3月のPTA防犯・安全パトロールは、1年1組です。どうぞよろしくお願ひします。